

どうぞ、入ってくださいセンパイ

ふふっ、センパイがうちに来るのなんて、本当に久しぶりですね

あ、適当なところ掛けてください。今、お茶いれてきますから...

え...あ、あはは、そ、そうですね！

なんかセンパイと会うの久々に、変に緊張しちゃって...

必要以上に気を使っちゃってました。すみません

...そうですね、変に気を遣う必要なんてないですよね

私達、その...恋人...なんですから...

えへ、えへへ...

...それじゃあ、センパイ？

隣、座ってもいいですか？

...はいっ、失礼しますっ

えへへ...生（なま）のセンパイだあ...

...え？そりゃ嬉しいですよ

勿論、疎遠にならない様に時々電話したり、メールしたりとかはしてましたけど

でもやっぱり、こうやって実際に会えた時の方がセンパイを直（じか）に感じる事ができるので...

センパイの匂いとか、体温とか、感触とか...

直接触れて確かめるたびに...ああ、やっぱり私はセンパイのことが大好きなんだなあ...

って、実感できるんです

...センパイは、どうですか？

私と久々に会えて...嬉しいですか？

...ふふふっ、その一言を聴けて安心しました

じゃあ今日は久々に会った分、沢山イチャイチャしましょうね、えへへっ

んー.....センパイ...

...ん...ごめんなさいセンパイ。

ちょっとお顔、よく見せてください

...センパイ、やっぱりちょっと疲れてます？

隠さなくていいです、正直に言ってください

...そうですね。受験勉強、やっぱりしんどいですよね

志望する大学に入るためとはいえ、自分の時間削って、必死に勉強の時間捻出して...

...え。私とも会えないから、ですか...？

あ、え、それは...う、嬉しいです、はい...ありがとうございます...
ざいます...

って、お礼を言うのも変ですね、すみません！

...分かりました！

今日はいつも頑張ってるセンパイのことを、私が誠心誠意癒してあげたいと思います！

遠慮しないでください、私が一方的にしてあげたいって
だけですから

いつも頑張ってる自分へのご褒美ってことで、今日くらいはカノジョに甘えちゃってください。ね？

...はい、任せてください！

それでは早速、センパイを癒すために、これからセンパイのことを...くすぐりたいと思います！